令和２年度　穴水町立穴水小学校　中期 学力向上プラン

プラン名　図と式を関連させて説明しよう　！（７０％）

12か条＋(プラス)
3条

１　授業づくり

⑴　現状・課題（R）

課題	現状（科学的データ）
問われていることを理解し、解決のために必要な数量を見い出すとともに、筋道立てて解決することが苦手である。	

○R２年度全国学力調査（算数：正答率が５０％以下の記述問題）

2(2)	示された四角柱について、かけ算の式がどのようなことを表しているのかを書く	被乗数と乗数の関係が明確でない。 どちらか一方を求めていたり、差を求めるための式が抜けていたりするなど、比較に必要な条件を満たしていない。
4(2)	ヘチマのくきの長さを表している棒グラフを基に、のびたくきの長さを表している棒グラフを選び、選んだわけを書く。	

○診断テスト（研究に関連した設問　令和２年７月実施）

	問題の概要	正答率	無回答率
１年	求残の問題を捉え、９－４の式になる話を作る。	42.1%	0.0%
２年	体積の単位を適切に選択して、身の回りにある入れ物に入る水の体積を測定する。	51.4%	14.2%
３年	問題場面において、図や式を用いて考え表現する。	14.2%	3.5%
４年	グラフの組み合わせから、２つの関係について傾向を読み取る。	16.6%	0.0%
５年	重なる円の図形から、円の直径を求める。	15.0%	0.0%
６年	２つの資料から、必要な情報を取り出して、分数の乗法・除法を使い、問題を解決する。	15.0%	0.3%

○児童アンケート（A：あてはまる＋B：だいたいあてはまるの児童の割合）

内容	全校（7 月）	全校（12 月）	全校（3 月）
算数の時間に進んで学習できた	83.2%		
図・式・言葉を使って自分の考えを書いた	76.2%		
図・式・言葉を使って自分の考えを発表できた	63.3%		

○「図・式・言葉で表現する」児童ノート達成状況

取組	全校（6・7 月）	全校（9・10 月）	全校（11・12 月）	全校（1・2 月）
図・式・言葉で表現する	77.7%			

［要因］
○図や式を用いて自分の考えを書こうとしている。
△問題に正対した答え方になっておらず、結論まで表現できないことがある。
△問題場面から数量関係を捉え、図や表を用いながら考えることが苦手である。

⑵　計画と実行（P・D）

中期目標	具体的取組
問題場面から必要な数量を捉え、図と式を関連させて説明することができる。	○解決に向けた見通しを確認し、板書する。（㊙カードで提示する。） ○図を指し示して説明させる。 ○「だから」を用いて結論まで話すよう指導する。 自分の考えを表現する（２学期は説明する指導の充実） （低）操作活動と式 （中）図や式と言葉（１～２文程度で短く） （高）図や式と言葉（考えた順番に箇条書きで）

評価項目	評価（結果）
○ノート点検（２年以上）…図に必要な数値を記入する　80% ○授業評価表（全学年）…図や式、言葉での記述・説明　70% ○活用問題の正答率を中学年 60%以上、高学年 60%以上 ○学期末テスト（全学年）…80 点以上を 80% ○児童アンケート（A:あてはまる　B：だいたいあてはまる）	

算数の時間に進んで考えたり発表したりできた	A＋B　80%
図・式・言葉を使って自分の考えを書いた	A＋B　80%
図・式・言葉を使って自分の考えを説明できた	A＋B　70%

⑶　検証と改善策（C・A）

月	評価項目（誰が，いつ）	結果	改善策
9	□ノート・児童の姿（9 月 11 日研究授業）		
10	□ノート・児童の姿（10 月 7 日研究授業）		
11	□ノート・児童の姿(11 月 11　日研究授業)		
12	□ノート・児童の姿 □診断テスト（３年～６年） □学期末テスト（全学年） □児童アンケート（12 月 10 日）		

２　基盤づくり

中期目標	具体的取組	評価
姿勢を整えて学習することができる。	・「ペッタン・ピン・グー」ができるよう指導する。	